8.定期点検のしかた

●正常に動作することを確認するために、6ヵ月に1回以上定期点検を行ってください。
●電池切れ警報が出なくても、専用リチウム電池は約10年を目安に交換することをおすすめします。

熱検知部にホコリがついていないかを確認する

●ホコリやくもの巣が表面につくと熱を検知しにくくなったり、誤動作の原因となります。
※熱検知部を触ったり、濡らしたりしないでください。

動作機能を確認する

1 ねつ当番が警報動作中や警報音停止中でないことを確認する。

テスト機能を使って確認する

2 警報停止ボタンを押す(約1秒間)、または引きひもを引く(約1秒間)。
- 作動灯(赤)が3回点滅すると共に「ピッ、正常です。」と1回鳴れば正常です。
- 移報接点は出力しません。

火災警報音を鳴らして確認する

2 警報停止ボタンを押し続ける(約4秒以上)、または引きひもを引っ張り続ける(約4秒以上)。
- 火災警報音「ピュー、ピュー、火事です。火事です。」が鳴り、作動灯(赤)が連続点滅すれば正常です。
- 移報接点が出力します。
(「9. 移報接点について」参照)
- 警報停止ボタンまたは引きひもをはなすと、終了します。

注 **下記の異常などがないか確認できます。**
●熱検知部の異常
●電源異常
●警報部(スピーカー)の異常

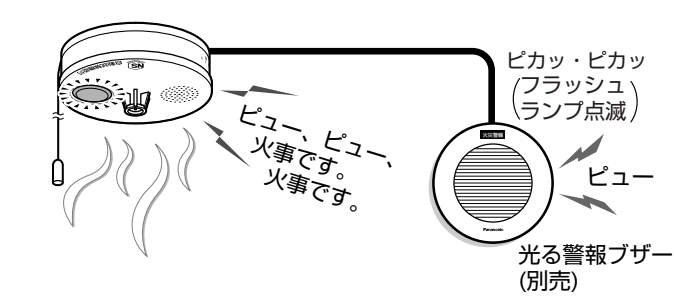
正常に動作しない場合は

故障警報音が鳴ったり、警報音が鳴らない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口にご相談いただき、すみやかにねつ当番を交換してください。

故障状態では熱を検知できず、火災警報動作をしません。

9.移報接点について

●ねつ当番の移報接点に光る警報ブザーなどを接続している場合は、ねつ当番が火災警報中は移報接点が出力し続け、接続機器が連動します。

※接続機器の鳴動時間などは接続機器側の説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。

10.異常時の点検・処置

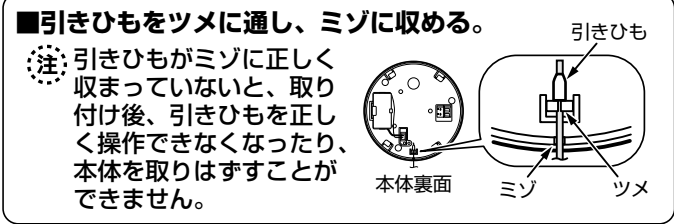
●修理・サービスを依頼される前に、次の点検および処置をしてください。
点検・処置をしても異常があるときは販売店に連絡してください。

状態	点検	処置
火災ではないのに火災警報動作をする。または火災警報動作が止まらない。	ねつ当番の近くに調理の熱や蒸気が滞留していませんか?	熱、蒸気などを取り除いてください。
	熱検知部に熱などが残っていませんか?	熱検知部の熱をうちわなどであおいで取り除いてください。
	警報停止ボタンが押されたままになっていませんか?また引きひもがひっかかっていませんか?	警報停止ボタン、または引きひものひっかかりを直してください。
火災警報動作をしない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていませんか?	コネクタを差し込んでください。
	専用リチウム電池が切れていませんか?(電池切れ警報動作をしていた)	新しい専用リチウム電池に取り替えてください。**➡7.電池切れ検出機能**
	火災警報音を停止しましたか?	操作後から約5分間は熱などを検知しても火災警報動作をしません。**➡5.火災警報機能**
	——	ねつ当番が故障しています。販売店にご相談ください。
警報停止ボタンを押したり、引きひもを引いても動作しない。	専用リチウム電池のコネクタがはずれていませんか?	コネクタを差し込んでください。
	専用リチウム電池が切れていませんか?(電池切れ警報動作をしていた)	新しい専用リチウム電池に取り替えてください。**➡7.電池切れ検出機能**
	——	ねつ当番が故障しています。販売店にご相談ください。
「ピッ」音が鳴り、作動灯(赤)が点滅する。	——	電池切れ警報音です。新しい専用リチウム電池に取り替えてください。**➡7.電池切れ検出機能**
「ピッピッピッ」音が鳴り、作動灯(赤)が点滅する。	——	故障警報音です。**➡6.自動試験機能**
作動灯(赤)が約8秒おきに点滅を繰り返す。	電池切れ警報音を停止しましたか?	警報停止ボタンを押す、または引きひもを引いて警報音を確認してください。**➡7.電池切れ検出機能**
作動灯(赤)が連続点滅する。	故障警報音を停止しましたか?	警報停止ボタンを押す、または引きひもを引いて警報音を確認してください。**➡6.自動試験機能**
ねつ当番が火災警報動作をしているのに、接続機器が連動をしない。	——	ねつ当番の移報接点端子部の異常です。販売店にご相談ください。
		接続機器の異常です。(接続機器に付属の説明書参照)

■引きひもがはずれた場合

●本体を取りはずして引きひもを取り付けてください。
●本体の取りはずしおよび取り付けについては、「4. お手入れ方法」を参照してください。

■引きひもをツメに通し、ミゾに収める。

注 **引きひもがミゾに正しく収まっていないと、取り付け後、引きひもを正しく操作できなくなったり、本体を取りはずすことができません。**

11.仕様

項目		仕様
種別		定温式住宅用火災警報器
型式		電池方式(DC3V、300mA)、自動試験機能付
型式番号		鑑住第20～30号
使用電池		専用リチウム電池 SH384552520(3V)
電池寿命		約10年(※)
移報出力		DC30V、0.5A
警報音・音声警報	火災警報時	ピュー、ピュー、火事です。火事です。
	電池切れ警報時	「ピッ、電池切れです。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッ」(警報音)が鳴動。(以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとに繰り返す。)
	故障警報時	「ピッピッピッ、故障です。」(音声)を3回繰り返した後、約40秒おきに「ピッピッピッ」(警報音)が鳴動。(以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとに繰り返す。)
火災警報音量		1mにて70dB以上(鑑定基準)
寸法		約 φ100mm×約42mm(取付ベース含む)
質量		約100g(専用リチウム電池含む)
使用周囲温度		0℃～+40℃
設置場所		天井面・壁面

※お客様のご使用環境により、短くなる場合があります。

12.保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・使いかた・お手入れなどは…
■まず、お買い求め先へご相談ください。

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名
電　話　(　　　)　　　—
お買い上げ日　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは…
「10.異常時の点検・処置」でご確認のあと、直らないときはお買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名　住宅用火災警報器
●品　番
●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間:お買い上げ日から本体1年間
●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
修理料金は次の内容で構成されています。
【技術料】診断・修理・調整・点検などの費用
【部品代】部品および補助材料代
【出張料】技術者を派遣する費用
●補修用性能部品の保有期間 7年
当社は、この住宅用火災警報器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。
※「よくあるご質問」「メールでお問い合わせ」などは、ホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/

●修理に関するご相談は…………………

パナソニック エコソリューションズ修理ご相談窓口
ナビダイヤル(全国共通番号) 0570-081-365
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日/受付9時～20時
ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪 ☎06-6906-1090
札幌 ☎011-261-6401㊫　名古屋 ☎052-551-7900㊫
東京 ☎03-5392-7190㊫　福岡 ☎092-622-0531㊫
※㊫印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

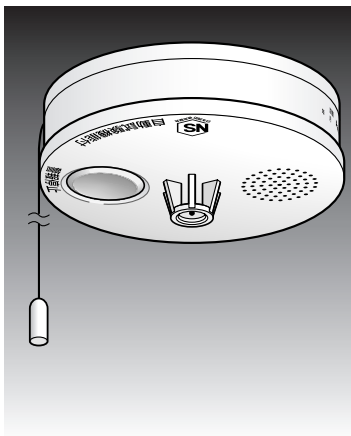
パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合…06-6907-1187
■FAX　フリーダイヤル…0120-878-236
※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
電話 0120-283338 FAX 0120-551626

NS 日本消防検定協会鑑定品　**Panasonic**

ねつ当番薄型 定温式

(電池式・移報接点付)
(警報音・音声警報機能付)
品番 SH38153
品番 SH38153□□□

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「1.安全上のご注意」を必ずお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

ご使用前に

●この商品は熱を検知して警報する機能をもっています。
●この商品は日本消防検定協会の鑑定品です。
定温式住宅用火災警報器として設置できます。
●警報する機能をもっていますが火災の防止器ではありません。火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

8A3 625 00004　K0808-30112A

キリトリ線

Panasonic　出張修理

ねつ当番保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

※品番		
保証期間		お買い上げ日から 本体 1年間
※お買い上げ日(和暦)		年　月　日
※お客様	ご住所	
	お名前	様
	電話	(　　)　—
※販売店	住所・販売店名	
	電話	(　　)　—

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555　三重県津市藤方1668番地 TEL 0120-283338(フリーダイヤル)

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

1.安全上のご注意

■必ずお守りください

⚠警告

必ず守る	**取り付け・取りはずし時などは足場を確保する。** 高所作業になり、転倒・落下のおそれがあります。安全に作業できるようご注意ください。

⚠注意

禁止	**引きひもを強く引っ張らない。引きひもにぶらさがらない。** 転倒・落下のおそれがあります。 安全のため、引きひもに強い力が加わると、引きひもがはずれる構造になっています。
	警報部に耳を近づけて警報音を聞かない。 守らないと、聴力障害などの原因となるおそれがあります。
必ず守る	**取付ベース・商品本体の取り付けは確実に行う。** 商品が落下し、ケガや他の物品を破損する原因となります。不備のないようしっかりと取り付けてください。
	専用リチウム電池のコネクタは確実に差し込む。 差し込みが不十分な場合、発熱するおそれがあります。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
 (ハ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 (ニ) 車両、船舶などに搭載された場合に準ずる故障及び損傷
 (ホ) 一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
 (ヘ) 本書のご提示がない場合
 (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 (チ) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お客様ご相談窓口は、取扱説明書をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

2.使用上のご注意

お願い

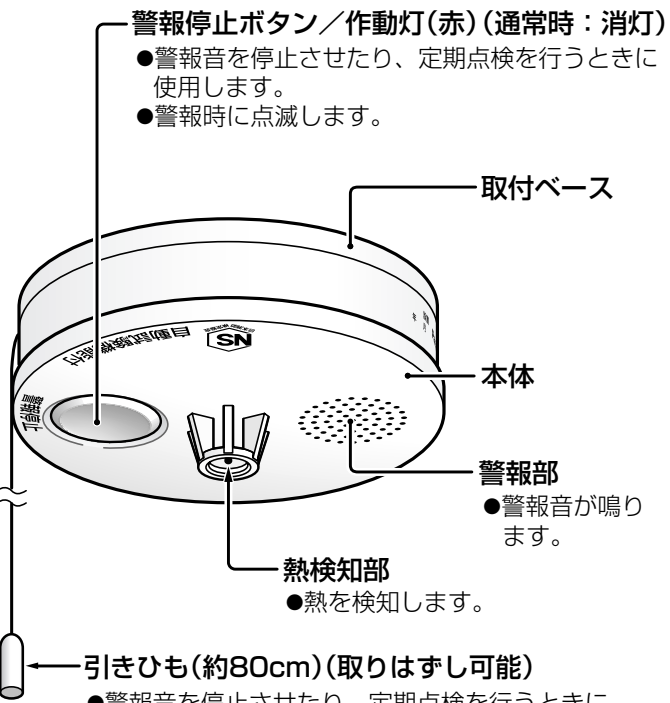
●**この商品は、法律(消防法9条2)で住宅への設置および維持について義務付けられています。お客様での維持管理をお願いします。**
●この商品は、熱検知部の異常や電池切れを検出して自動的に警報する機能をもっています。警報音や作動灯の点滅にご注意ください。
(「6.自動試験機能」「7.電池切れ検出機能」参照)
●維持管理のために、6ヵ月に1回以上定期点検を行ってください。(「8.定期点検のしかた」参照)

ご注意

●ねつ当番は絶対に分解・改造しないでください。また、落下させたり衝撃を与えるような取り扱いはしないでください。
故障の原因となります。
●取付位置を移動させる場合は、販売店にご相談いただくか、説明書にしたがって正しく取り付けてください。
また、移動させた場合は必ず動作確認を行ってください。
正しく取り付けないと、火災警報動作が遅れる原因となります。
●このねつ当番は、お取り付けいただいた場所近くでの熱には火災警報動作をしますが、他の部屋などで発生した熱では火災警報動作をしないことがあります。
●ライターなどの直火で熱検知部を温めないでください。
故障の原因となります。
●1週間以上留守にされたときは、「8.定期点検のしかた」を行ってください。
(留守中に電池切れ警報があってもわからないため)

廃棄について
●**交換後の専用リチウム電池やねつ当番については各市町村で定められた方法にしたがって廃棄してください。**

3.各部のなまえとはたらき

- **警報停止ボタン/作動灯(赤)(通常時:消灯)**
  - ●警報音を停止させたり、定期点検を行うときに使用します。
  - ●警報時に点滅します。
- **取付ベース**
- **本体**
- **警報部**
  - ●警報音が鳴ります。
- **熱検知部**
  - ●熱を検知します。
- **引きひも(約80cm)(取りはずし可能)**
  - ●警報音を停止させたり、定期点検を行うときに使用します。
  - ●引きひもを使用しない場合は取りはずしたり、使用しやすい長さにカットして使用できます。
  (施工説明書「取付方法」参照)

4.お手入れ方法

●ねつ当番の本体を取りはずしてお手入れしてください。
●ねつ当番の取付部付近の天井面・壁面を掃除するときも本体を取りはずしてください。
●取りはずしや取り付けは、ねつ当番本体の外周を持って行ってください。熱検知部を持つと、商品が破損するおそれがあります。

取りはずすとき

■本体の外周を持ち、上に押し付けながら左に回す。
※移報信号線は取りはずさないでください。

●ねつ当番の本体が汚れたら

●**布に水または石けん水を浸し、よく絞ってから汚れをふきとってください。**

よく絞る
水または石けん水

ねつ当番の内部に水が浸入しないように注意してください。

アルカリ性洗剤・塩素系漂白剤・ベンジン・シンナーおよびアルコールは使わないでください。アルカリ性洗剤などを使ったときは、ねつ当番の表面にキズや割れが発生する場合があります。

熱検知部

注 **熱検知部を触ったり、濡らしたりしないでください。故障の原因となります。**

取り付けるとき

1 引きひもをミゾに収める。

注 引きひもがミゾに正しく収まっていない状態で本体を取付ベースに取り付けると、引きひもを正しく操作できなくなったり、本体を取りはずすことができなくなります。

2 取付ベースに本体を合わせて、「カチン」と音がするまで右に回す。

注 **本体の取付時、専用リチウム電池のリード線や移報信号線をはさみ込まないように注意してください。**

●お手入れ後は
●**本体を取り付けてください。**
•本体の表面がよく乾いてから取り付けてください。
•熱検知部に異物(糸くず、水など)が残っていないか確認してください。
●**本体を取り付けてから、動作機能の確認をしてください。(「8.定期点検のしかた」参照)**

5.火災警報機能

熱検知部の温度が低くなれば、火災警報動作が止まり通常の状態に戻ります。
※移報接点の出力も停止します。

火災警報動作をしたら

現場を確認して、119番に通報するなど適切な処置をする。

火災警報音を停止するには

●**警報停止ボタンを押す、または引きひもを引く。**
(約5分間火災警報音と作動灯(赤)の点滅が停止します。)
※移報接点の出力も停止します。

注 **火災警報音停止中(約5分間)は熱を検知しても火災警報動作をしません。**

→**約5分後も熱を検知している状態であれば、再び火災警報動作をします。** ※移報接点が出力します。

→**約5分後に温度が低くなっていれば、自動的に通常の状態に戻ります。**

注 **熱検知部の温度が低くなるまで、火災警報動作を繰り返します。**

6.自動試験機能

●ねつ当番は約1時間ごとに熱検知部の自動試験を行っています。

故障警報動作をしたら

販売店またはお客様ご相談窓口にご相談いただき、すみやかにねつ当番を交換する。

故障状態では熱を検知できず、火災警報動作をしません。

故障警報音を停止するには

●**警報停止ボタンを押す、または引きひもを引くと、「ピッピッピッ、故障です。」が1回鳴り、その後約16時間故障警報音が停止します。**
※作動灯(赤)は点滅し続けます。
※故障警報音停止中に警報停止ボタンを押す、または引きひもを引いた場合は、「ピッピッピッ、故障です。」が鳴り、操作後から再度、約16時間故障警報音が停止します。

火災以外でも次のような場合に火災警報動作をすることがあります。

•レンジ、エアコン、ストーブなどの熱を検知したとき。

室内の換気をするなどして、火災警報動作の原因を取り除けば火災警報動作は止まります。

7.電池切れ検出機能

電池切れ警報動作をしたら

販売店またはお客様ご相談窓口にご相談いただき、すみやかに新しい専用リチウム電池に交換する。
(専用リチウム電池品番:SH384552520)

※電池切れ警報は約1週間継続します。
※電池寿命は約10年を想定していますが、お客様のご使用環境により短くなる場合があります。

電池切れ警報音を停止するには

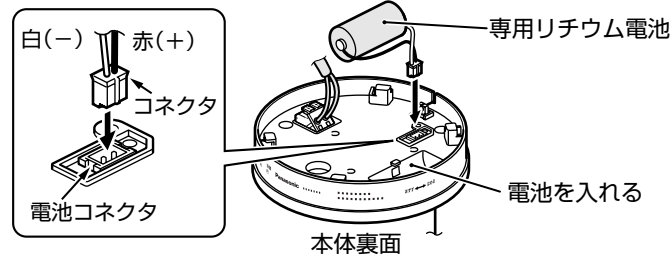
●**警報停止ボタンを押す、または引きひもを引くと、「ピッ、電池切れです。」が1回鳴り、その後約16時間電池切れ警報音が停止します。**
※作動灯(赤)は約8秒おきに点滅し続けます。
※電池切れ警報音停止中に警報停止ボタンを押す、または引きひもを引いた場合は、「ピッ、電池切れです。」が鳴り、操作後から再度、約16時間電池切れ警報音が停止します。

専用リチウム電池の交換方法

❶ **本体を取りはずす。(「4.お手入れ方法」参照)**

❷ **電池コネクタからコネクタを引き抜く。**

❸ **新しい専用リチウム電池を入れる。**

注

●**外装フィルムは専用リチウム電池を保護するものです。はがさないでください。**
●**コネクタには極性があります。逆には取り付けできません。**
●**コネクタの接続にドライバーなどを使用しないでください。コネクタ部が破損したり、電線がショートする原因となります。**

❹ **「8.定期点検のしかた」を参照して正常に動作することを確認する。**